

平成29年度 一般文化無償資金協力
「歴史文化遺産科学研究センター考古学資料修復・保存機材整備計画」
引き渡し式の実施

2021年7月22日、一般文化無償資金協力「歴史文化遺産科学研究センター考古学資料修復・保存機材整備計画」（供与限度額：69,700,000円）の引き渡し式が、エレバン市の歴史文化遺産科学研究センターで開催されました。本式典には福島正則在アルメニア日本国大使、アラ・クズマリヤン教育・科学・文化・スポーツ省次官、ハチク・ハルチュニヤン歴史文化遺産科学研究センター長、江尻幸彦 JICA ジョージア支所長、その他 JICA 専門家を含む関係者総勢約 20 名が出席しました。

本計画は 2018 年 2 月 16 日に交換公文が署名されました。同センターへの出土品の修復・保存機材の供与を通じ、アルメニアにおける貴重な文化遺産が保護されるだけでなく、国民の自国の遺産や文化への関心醸成、理解促進という教育効果にも繋がることで、インフラ開発等に偏重することのない均衡のとれた持続的な経済成長の達成に寄与することが期待されます。

本計画で整備された考古学資料修復・保存機材等を視察した後、式典冒頭、クズマリヤン次官が歓迎の辞を述べつつ、日本のように深い歴史を湛える国のみが、他の伝統ある国の歴史文化遺産の真価を認めることができると発言しました。

福島大使からは本計画の完了と成功を祝福した上で、今回の我が国の支援を通して日・アルメニア両国間の友好関係が一層発展することを確信すると話しました。

ハルチュニヤン・センター長は、新たに整備された最新の機材は考古学資料の修復・保存をより効率的かつ正確に行うことを可能とするだけでなく、研究の促進と研究者の育成にも寄与するとして、日本政府に感謝の言葉を伝えました。

江尻支所長は、当該センターで修復された文化財が様々な博物館に展示されることで、アルメニア国民が自国の文化をより深く知り得ることを嬉しく思うと話しました。

式典の最後に、来賓や本計画関係者らは日本政府の支援に対し改めて謝意を表しました。



クズマリャン次官に祝意を伝える福島大使



新たに整備された機材



新機材の実演



JICA 専門家(中央)より機材の説明を受ける
福島大使(右)と江尻支所長(左)